

資料2

「第3回環境と経済の好循環専門委員会」資料

－ シャープの取り組みと提言 －

平成15年12月19日

シャープ株式会社

相談役 辻 晴雄

概要

() シャープの環境取り組み(事例紹介)

- ・「環境先進企業」を目指して
- ・太陽電池と液晶テレビ

() 提言

- ・環境と経済の好循環について

**()シャープの環境取り組み
(事例紹介)**

シャープの環境戦略

スーパーグリーン戦略

環境先進企業

スーパーグリーン
プロダクトの創出

スーパーグリーン
ファクトリーの実現

環境技術開発の強化
スーパーグリーンテクノロジー
の強化

太陽電池と液晶テレビ

太陽電池と液晶で「創エネ」と「省エネ」

- **業界での長年にわたる技術開発の成果**
 - 1963年の太陽電池の量産開始以来、40年間にわたる太陽光発電の技術開発・・・「創エネルギー」
 - 1973年に液晶表示を利用した電卓を開発して以来、30年間にわたる液晶技術開発・・・「省エネルギー」

太陽光エネルギーはクリーンで無尽蔵

1時間に地球に到達する太陽エネルギーは、地球1年分のエネルギー消費量に匹敵。

枯渇の心配がない

日本の約2,530万戸の一戸建に4kWのシステムを設置すると年間約1,000億kWhのクリーンな電力を作る。

住宅用の4kWのシステムは、年間720kgの炭素の排出を削減する。
(石油火力との比較)
グリーンライフの実践。

無限に降り注ぐ太陽エネルギー

運転時には騒音もCO₂排出がない

国を挙げて太陽光発電の普及を推進。
(経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団などによる太陽光発電システムへの普及促進施策)

太陽光発電

住宅等の需要地が発電所に

エネルギー輸送のインフラ整備が不要

屋根を有効活用し、自家発電が可能。昼間の余った電気は電力会社へ売ることができる。時間帯別電灯契約のオール電化住宅で光熱費を節約。

太陽光発電の環境貢献度試算

・ 2010年度累計導入目標量 : 482万kW
(地球温暖化対策推進大綱)

・ 年間発電量換算 : 5,000 GWh / 年
・ CO²換算 : 188万 t-CO² / 年

森林面積換算 約 6,000 km²
東京都(約2,200 km²)の約3倍に相当

液晶テレビの環境対応



省エネルギー

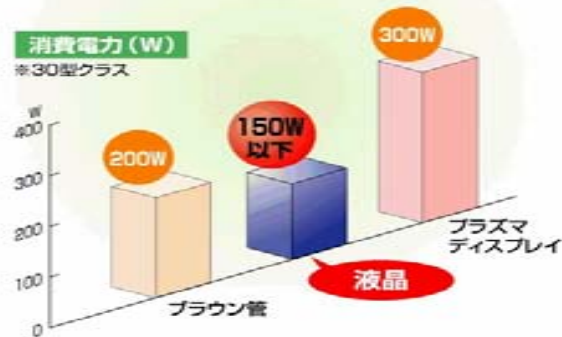
省資源(長寿命バックライト、薄型、軽量)

ディスプレイの性能比較

ブラウン管・液晶・プラズマディスプレイ

省エネルギー

液晶は最小消費電力!!
環境配慮型ディスプレイ!!



長寿命

液晶は最長寿命!!
未永く使える!!



軽量・省スペース

液晶は薄型・軽量!!
持ち運びTV／壁掛けTVの実現!!



映り込みが少ない

液晶は最小反射率!!
映り込みのない鮮明な映像表示を実現!!



放送のデジタル化による
液晶テレビの環境貢献度(試算)

・環境貢献シミュレーション

(想定:1億台が全て液晶テレビに置き換わった場合)

シャープ試算値

・2011年度年間消費電力削減量

2,400 GWh / 年

CO₂換算 92万 t-CO₂ / 年

森林面積換算 約 3,000 km²

東京都(約2,200 km²)の約1.4倍に相当

() 提 言

環境と経済の好循環について

・「2002年環境省地球温暖化対策推進大綱」の取り組み5項目

- 1) エネルギー起源二酸化炭素
； 1990年度と同水準に抑制
- 2) 非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素
； 0.5%の削減を目標
- 3) 革新的技術開発及び国民各界各層の更なる地球温暖化防止活動の推進
； 2.0%の削減を目標
- 4) 代替フロン等3ガス(HFC,PFC,SF6)
； 自然体でプラス5%をプラス2%程度の影響に止めることを目標
- 5) 吸収量の確保
； COP7で合意された 3.9%程度の吸収量の確保を目標

わが国の自然と経済のスパイラル展開について

- ・自然環境に手を入れることが、物心両面のメリットにつながる仕組みづくり
- ・ビジネス(雇用と経済効果の確保)にする
- ・自然環境の価値を最大限に高める
- ・農林業、漁業、観光、医療、福祉、教育、自動車、鉄道、IT、エレクトロニクスなどの技術とノウハウを集結・融合、いやしと知の満足を国内外の人々に提供する



「見せる観光国」をこえて、「つつみ込む環境国」へ